

## 令和6年度第1回国土技術政策総合研究所入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和6年6月26日(水) WEB形式	
委員	委員長 森本 章倫 (早稲田大学教授) 委員 篠田 友彦 (公認会計士) 委員 長井 宏平 (北海道大学教授) 委員 義経百合子 (弁護士)	
審議対象期間	令和5年10月1日 ~ 令和6年3月31日	
事案の抽出	国土技術政策総合研究所が審議対象期間に発注した工事、建設コンサルタント業務等及び物品・役務の一覧表から、今回の抽出当番委員である篠田委員により事前に無作為の方法により抽出されたものである。	
抽 出 事 案 (審議順)		
区 分	件 名	
物品役務等		
一般競争入札方式	① 岸壁における照査用震度算定プログラムに関する動作検証業務	
建設コンサルタント業務等		
随意契約方式 (簡易公募型(拡大型) プロポーザル方式)	② 下水道用硬質塩化ビニル管の劣化予測モデル作成及び下水道管きよ劣化データベース拡充に向けた情報収集整理業務 ③ 衛星取得データを活用した河川堤防の被災箇所自動抽出試行業務 ④ 常時観測交通量データ等を用いた渋滞等損失時間の算定・整理業務 ⑤ 無人航空機を活用した道路被災状況調査技術の高度化検討業務 ⑥ マンション等の建物維持管理の高度化に向けた建築情報モデルに関する調査整理業務 ⑦ 次期積算システム構築・運用方法検討業務	
随意契約方式 (参加者の有無を確認する公募方式)	⑧ 土砂災害危険度評価システム改良業務	
委員からの意見・質問それに対する説明・回答	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	な し	

意見・質問	説明・回答
<p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況報告</p> <p>(2) 指名停止等の運用状況報告</p> <p>(3) 再度入札における一位不働状況報告</p> <p>(4) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>(5) 一者応札の発生状況報告</p> <p>(6) 不調・不落の発生状況報告</p> <p>(7) 高落札率の発生状況報告</p>	<p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p>
<p><b>【抽出事案】</b></p> <p>(1) 岸壁における照査用震度算定プログラムに関する動作検証業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発注が遅くなった理由は。</li> </ul> <p>(2) 下水道用硬質塩化ビニル管の劣化予測モデル作成及び下水道管きょ劣化データベース拡充に向けた情報収集整理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業から見ても興味深い内容の業務だと思うが、応募する企業は少ないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初は、発注予定がなかったが、港湾の設計を行う者から高いニーズのあるプログラムであり、入札差金を活用して発注した。</li> <li>・入札説明書を交付した者に確認したところ、前年度からの継続業務で受注に不利と考えた、業務内容が高度で技術者の確保が難しかった、業務量が不明瞭だったなどの意見があった。今後、発注時期を早くしたいと考えている。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<p>・発注が遅くなった理由は。</p> <p>(3) 衛星取得データを活用した河川堤防の被災箇所自動抽出試行業務</p> <p>(4) 常時観測交通量データ等を用いた渋滞等損失時間の算定・整理業務 ・発注時期を前倒しできないか。</p> <p>(5) 無人航空機を活用した道路被災状況調査技術の高度化検討業務</p> <p>(6) マンション等の建物維持管理の高度化に向けた建築情報モデルに関する調査整理業務 ・発注が遅くなった理由は。</p> <p>(7) 次期積算システム構築・運用方法検討業務 ・今回受注した事業者は、昨年度と同じ事業者か。</p>	<p>・前年度の報告書をまとめたのが年度末になり、関係自治体へフィードバックしていたこと、発注前に塩化ビニルの水道・下水道管のデータについて調査が必要だったことなどから、この時期になった。</p> <p>意見・質問なし</p> <p>・業務に使用するデータが年末に整うため、この時期にならざるを得なかった。</p> <p>意見・質問なし</p> <p>・財源が内閣府の競争的資金で7月以降でないとは執行できなかった。また、实在マンションを対象としたケーススタディーについて協力を得るための準備検討が必要であった。</p> <p>・システム検討要件定義は別の事業者だったが、システム設計とシステム構築は同じ事業者が受注している。なお、デジタル庁のガイドラインで要件定義書を作成した事業者は、システムの設計や構築業務の入札に参加できないルールとなっている。</p>

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム設計と構築は同じ企業が受注に有利だ と思うが、競争性を高める工夫はあるか。</li>   <li>(8) 土砂災害危険度評価システム改良業務</li>   <li>(その他)</li> <li>・プロポーザル方式の評価における配点の考え方を 教えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンダーや業界から意見を聞くため、公示前 にホームページで要件定義、基本設計を公開 した。</li>   <li>意見・質問なし</li>   <li>・後ほど資料をお送りし説明させていただく。</li> </ul>
<p><b>【総括】</b>  今回の「定例会議」の審議案件については、特に 指摘すべき不適切な点、改善すべき点は、認めら れなかった。</p>	

## 抽 出 事 案 一 覧

### 【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者 数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
岸壁における照査用震度算定プログラムに関する動作検証業務	役務の提供等	1	1	R5.12.14	(株)エコー	2,750	79.62%

### 【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型(拡大型)プロポーザル方式)

業 務 名	業種区分	技術提案書の 提出者の選定数	技術提案書の 提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
下水道用硬質塩化ビニル管の劣化予測モデル作成及び下水道管きよ劣化データベース拡充に向けた情報収集整理業務	建設コンサル (土木)	1	1	R5.12.6	(株)日水コン	9,031	98.32%
衛星取得データを活用した河川堤防の被災箇所自動抽出試行業務	建設コンサル (土木)	2	2	R5.10.5	アジア航測・みずほリサーチ& テクノロジーズ設計共同体	14,993	100.00%
常時観測交通量データ等を用いた渋滞等損失時間の算定・整理業務	建設コンサル (土木)	1	1	R5.10.25	(一社)システム科学研究所	7,975	99.59%
無人航空機を活用した道路被災状況調査技術の高度化検討業務	建設コンサル (土木)	3	3	R5.10.16	パシフィックコンサルタンツ(株)	19,976	100.00%
マンション等の建物維持管理の高度化に向けた建築情報モデルに関する調査整理業務	建設コンサル (建築)	1	1	R5.12.21	(株)市浦ハウジング&プラン ニング	19,987	98.75%
次期積算システム構築・運用方法検討業務	建設コンサル (土木)	1	1	R6.3.25	(一財)日本建設情報総合セン ター	898,997	100.00%

(参加者の有無を確認する公募方式)

業 務 名	業種区分	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
土砂災害危険度評価システム改良業務	建設コンサル (土木)	R5.10.24	(一財)日本気象協会	9,988	99.89%